ROTARY CLUB OF OMIYA WEST

2021～22 年度 大宮西ロータリークラブ週報

創　立：1963年3月22日　　会　長　福田 和子
例会場：パレスホテル大宮　　幹　事　押野 一郎　　第2709例会　2021/11/08
例会日：月曜日 12:30～13:30　　雑誌・会報委員会　廿野 幸一　　発　行　日　2021/11/22

会 長 挨 拶

会長 福田 和子

皆さんこんにちは！会場にお越しの皆様、Zoom で参加の皆様、ご出席有難うございます。

紅葉の便りがあちらこちらから聞こえてきます。すっかり秋めいて来ました。私の故郷の栃木県奥日光の山並みは、さぞかし真っ赤に燃えていると思います。ベトナムから来られた米山記念奨学生のグェンティガンちゃんも、初めて紅葉の素晴らしさを堪能したことと思います。

初めてと言えば、満 18 歳になった高校生が衆議院選挙投票に初めて行ったことを話してくれました。日本では 2016 年公職選挙法等の一部を改正する法律が施行され、選挙権年齢が満 18 歳以上に引き下げられました。その高校生は、どの人を選べばいいか、どの党を選べばいいか全くわからなくて、メディアの情報を各方面から調べたそうです。小学生のころに法人会主催の子供向け租税教育を受け、日本では、学校・公園・救急車・ゴミ収集等、暮らしを支えるのに税金が使われるのだと学んだそうです。現在では、各学校において主権者教育がなされているのですね。国や社会の問題を自分の問題として捉え、自らの考え・自らの判断で行動をしていくようにするのが、主権者教育です。そして、政党のビジョンの中で一番不信に疑問に思ったのは「消費税を０％にする」。間接税の中でも社会保障費に使われる消費税は、大人だけでなく子どもも買い物をしたら誰もが平等におさめ、安定した世の中を造るため必要なものと認識されています。「もし消費税が０％になったら何処からお金がでてくるのか。未来の為、これで世の中は大丈夫なのか。」世界では消費税が０％の国もありますし、ヨーロッパでは消費税を 20～30％納める国もあります。「日本は資源のない国なので、行く末がどうなるか考えてしまいます。」と話していました。

18 歳から投票の権利施行が始まり、今後の政治・経済、世の中のありようを子どもはしっかり見ています。候補者がただ訴えるだけなのか、それとも内容が伴うのか、それを実行できるのか。未来を担う子ども達は、今回の選挙により世の中を見る力が付いてきています。それに伴う教養を身に着けたうえで判断し、自立していくものです。私たち大人は、良い背中を見せねば、豊かな未来は来ません。例会で唱えている“ロータリーの目的・四つのテスト”を照らし合わせれば、世の中の動きに通じるものがあります。より一層、私達は、ロータリー精神を身につけ子供たちの為にも実践せねばなりません。もう一度襟を正し、同じ空間を知の活用で豊かに生きましょう！

本日は、古来日本文化の美を求めて、ミニ盆栽の開拓者でもある山田香織様をお迎えして卓話をいただきます。盆栽の素晴らしさを再確認なさってください。

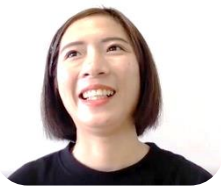
ロータリーの目的・四つのテスト

【本日のリーダー】

島村 まり子 会員

お客様紹介、米山記念奨学生紹介

■2021 学年度
米山記念奨学生
グェンティガンさん
（Zoom 参加）
（ご紹介：副会長
藤嶋 **剛史**）



心に夢を　奉仕に行動を

事務局：さいたま市大宮区桜木町1-11-2　YK-12ビル 4F
TEL 048-871-8881　FAX 048-871-8882
E-mail：west@rc-omiya-west.com　HP：http://rc-omiya-west.com/